



横浜市議員
かしわばら
柏原すぐる

駒岡町でミニ集会を開催します!

お一人でも、ご家族でもお気軽にご参加ください!
暮らしや地域のことを気軽に話しませんか?



会場は駒岡地区センター!



- 日程** 7月5日(日)
- 時間** 10:00～10:45
- 場所** 駒岡地区センター 2階会議室
横浜市鶴見区駒岡4-28-5
- 費用** 無料
- 内容** 市政報告・意見交換
地域のお困りごと など…



サークルや懇談会など

みなさんの集まりにも
柏原すぐるが伺います!

市民の声を行政に届けます!

みなさんの声をお聞かせください

集会所・カフェ…どこでもOK!

ミニ集会って何するの?

日頃は鶴見公会堂で市政報告会を行っています。今回は各地域へ出向いてタウンミーティングとして行います。地域のことや日常の不便やご心配など、ご意見やご質問をいただく時間も設けています。

- 地域の方の声から改善した例
- 市役所見学会



お子様連れの方も大歓迎! 暮らしのこと、地域のことなど一緒に話しませんか?



参加申し込みはこちら!

- QRコードを読み取ってフォームを送信ください。
- FAX/メールの場合は、氏名・電話番号・メールアドレスをご記入の上送信ください。
(FAX:045-663-1501
E-Mail: info@kashiwabara-suguru.com)
- お電話でも受け付けております。
(050-3637-5722) ※当日や途中参加、早退可能です

トレッサ横浜にブック&ラウンジ(図書取次所)を!

図書館の本を身近な場所で受取・返却できるようになります!

図書取次拠点とは?

横浜市立図書館で予約した本を、身近な公共施設で受け取ったり、返却したりできるサービスです。

図書取次所



駒岡や獅子ヶ谷、梶山等のエリアは、鶴見図書館から遠いため、日常的な図書サービスの利用が困難です。

横浜市は図書館ビジョンを策定し、図書サービスの利便性向上を進めています。その中で、商業施設への図書取次所「ブック&ラウンジ」の整備も推進されます。昨年度の教育委員会審議で、トレッサ横浜への整備を提案し、会派の予算要望にも盛り込みました。

- ここがポイント!
- 身近な場所で便利に利用!
- 子育て世帯や高齢者にもやさしいサービス
- 地域の読書環境がさらに充実!

「読みたい本に、近くで出会える街」を目指します。

柏原傑 (かしわばらすぐる)

1985年広島生まれ/鶴見区寺谷在住/妻と子ども3人の5人家族/公立小中高を経て、千葉大学工学部卒/民間企業を経て、2023年より横浜市議員/会派及び県連政調会副会長/まちづくり委員会委員/未来のまちづくり推進特別委員会委員

「近くで投票したい」を実現へ トレッサ横浜に鶴見区の期日前投票所を!



駒岡・梶山・上末吉エリアは、鶴見区内で最も投票率が低い地域です。

! 実はトレッサ横浜には
"港北区の" 期日前投票所が設置されているのをご存じでしょうか。

➡ しかし、鶴見区民はそこで投票することができません。

買い物ついでに投票でき、ご高齢のご家族を車で送って投票していただける——そんな身近な投票所が実現すれば、投票率の向上にもつながります。

議会で質問したところ、市からは「実現に向けて検討を進めている」と前向きな答弁を得ました。要望書にもしっかり盛り込み、早期実現を求め続けます。

こんなご相談、議員にどうぞ! 一議員の使い方紹介



※ご相談内容によって要望が実現しない場合や解決まで時間を要したり、すぐに改善できないこともあります。

身近な「おかしい」「不便」を少しでも良くするために、誰もが使えるツールなのが議員です。道路に関しては、横浜市の公式LINEからは「道路損傷通報システム」も使えます。区役所や土木事務所へ直接ご連絡いただくことも、もちろん可能です。

お困りの時は、議員も選択肢のひとつです。

公式LINEから
気軽にご相談
ください!



地域の声を横浜市に問う ～鶴見の課題に光を当てる!～



第2回定例会では、本会議において山中市長に質問。例えば、鶴見駅西口の喫煙所リニューアルの遅れへの対応など改めて質しました。今年度は、建築や都市整備、道路交通政策を所管するまちづくり委員会の委員を務めます。特別委員会においては副委員長として、拠点駅の子育て世代に選ばれるまちづくりをテーマとして調査研究いたします。議会質問の内容はHPに詳細を掲載しております。



今後の議会の予定

次回は9月から第3回定例会が行われます。決算審査などを予定しています。別途、市長パワハラ問題に係る第三者調査の結果を踏まえた対応が8月に想定されます。

横浜市会ダイジェスト



横浜市会第2回定例会では「横浜市中期計画2026～2029」をはじめ、市民生活に関わる重要な議案が議論されました。会派として、財政改革、制度の公平性、市役所改革について市長の姿勢を質しました。

【財源確保と歳出改革】～宿泊税の導入提言～

高齢化と人口減少が進む中、行政サービスを維持するには、新たな財源確保と歳出改革が必要です。宿泊税について具体的な検討状況を質しましたが、市の答弁は「具体的な検討は行っていない」という消極的なものでした。なお、福岡市では宿泊税により年間約30億円の税収があります。今後も提言を続けます。

【敬老パス制度の見直し】

鶴見区では70歳以上の10人に4人が利用していますが、将来的な事業費増加に加え、利用実態の偏りが課題です。事業費は2047年に約178億円まで膨らむ見込みです。また、年間500回以上利用する方は全体の13.6%ですが、補助額の約44%(約56億円)がこの層に使われています。実在する年間5000回以上等の多数回利用の実態調査と、公平で持続可能な制度への見直しを求めました。

【市営バス運賃と路上喫煙規制】



市営バスは、2027年1月から初乗り運賃が220円から240円へ引き上げられる予定です。とはいえ、累積資金不足が毎年20～40億円悪化していく見込みは変わりません。市民生活に直結するため、丁寧な説明共に、経営努力と効率的な運営が今後も求められます。

また、条例改正により、2027年1月から、市内全域の屋外公共空間で喫煙が禁止されます。受動喫煙対策や吸い殻のポイ捨て防止につながる一方、周知啓発や地域の実情に応じた対応も必要です。

【市役所の健全化と信頼回復】



市長のパワハラ疑惑を巡っては、職員が萎縮せず、市民のために自由に意見を言い合える組織文化が問われています。会派として、第三者調査の結果を踏まえ、不適切な事実等が確認された場合には、市長の政治責任を厳しく問うていきます。

今後も、公平性・透明性・持続可能性を重視した市政改革に取り組みます。



お問合せ

ご意見やご質問は随時受け付け中!
公式LINE登録後、「問い合わせ」
よりお気軽にご連絡ください。

